

キャッチボールクラシック

～仲間が取りやすいところに、思いやりの心で投げよう～



株式会社エスエスケイ

キャッチボールクラシック・大会は SSKにご相談ください。

『イベント提案、日本プロ野球選手会との打合せなどについて対応いたします。』



大会開会式後に1時間程度で開催できます。選手にとって最高に楽しいイベントになります。



1. キャッチボールクラシックとは



1) 主催

一般社団法人 日本プロ野球選手会（以下、選手会）

2) 概要

選手会は、これまで野球の原点であるキャッチボールの普及のためのさまざまな取り組みを行なってきました。

新しい試みとして、キャッチボールの正確さとスピードを競う

「キャッチボールクラシック」というゲームを誕生させました。

これは9人1組のチームが、2分間で何回キャッチボールができたかを競うものです。

【一般社団法人日本プロ野球選手会】

キャッチボールクラシックは野球の原点、キャッチボールの大切なものがすべて詰まっています。

キャッチボールを通じて体を鍛えるだけでなくチームワークや相手への思いやりの心も身に着け、ぜひ全国にチャレンジしてください。



©JPBPA
丸佳浩理事長

2. キャッチボールクラシックの歴史



1) 福島県からスタート

選手会がキャッチボール振興の観点から、福島県の中学校軟式野球指導者とともに、キャッチボールの要素を競技化した「キャッチボールクラシック」をスタート。



2) 全国大会

- ・ 2015年：岡山県倉敷市
- ・ 2016年：山梨県甲府市
- ・ 2017年：東京都八王子市
- ・ 2018年：石川県小松市
- ・ 2019年：愛媛県西条市
- ・ 2020年：福島県福島市(オンライン開催)
- ・ 2021年：福島県福島市(オンライン開催)
- ・ 2022年：福島県福島市(オンライン開催)/大阪府東大阪市(リアル大会)
- ・ 2023年：福島県福島市/大阪府東大阪市(予定)

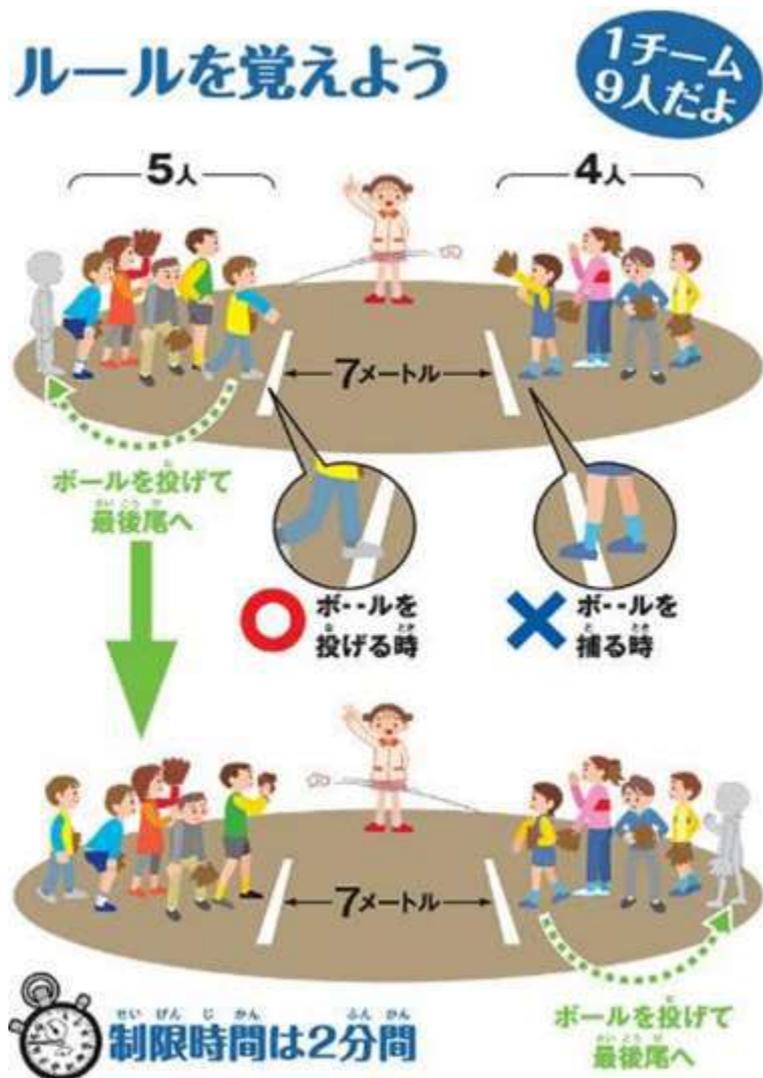


全国大会にはプロ野球現役選手が参加

3. キャッチボールクラシックのルール



ルールを覚えよう



●ルール

- 1) 人数：9人1チーム(5人と4人に分かれます)。
- 2) 時間：2分間
- 3) 競技：キャッチボールが何回できたかで勝ち負けが決まります。
- 4) 得点：ボールをキャッチした時点で1点カウントされます。
- 5) ライン①：投げる人がラインをこえても問題はありません。
- 6) ライン②：受ける人はラインの後ろでボールを捕球します。
- 7) ボール：指定はありません。



4. 大会の開催について

1) 選手会に申請しないで開催する場合

→公認記録の認定や、全国大会出場権はございません。

2) 公認記録大会として開催するには？

➡ SSKに申請してください。

『SSKは、公認記録の認定や、全国大会出場権のある大会を開催できる資格を取得しています』

→選手会に直接申請する場合は、公式ホームページからお願いします。

キャッチボールプロジェクト→応募要項&開催情報から大会開催の申込が可能です。

【一般社団法人日本プロ野球選手会 公式ホームページ (<http://jpbpa.net/>)】

5. 公認記録認定員について



1) 資格取得

公認記録認定員の資格を取得する為には、選手会が指定する大会で、講習を受講していただくことが必要です。

※受講希望者は、SSKにお問い合わせください。

2) 資格認定

講習会参加者には、選手会が発行する認定書と認定バッジが付与されます。

3) 公認記録大会

公認記録大会には、公認記録認定員が1名以上必要です。

尚、公認記録認定員が大会当日の審判予定者に、ルール説明を実施し理解させることで大会が成立します。



6. 全国大会出場を目指して



1) 公認記録大会の優勝チームに全国大会出場権利が与えられます

大会規模(出場チーム数)に応じて、上位2チームが全国大会への出場権を獲得できる可能性があります。

2) 試合は、トーナメント方式です

- ① 2分間の競技を2回おこないます。
- ② 大会規模(出場チーム数)や開催時間に応じて、1回戦→準決勝→決勝、敗者復活戦を組み入れる、1度に全チームが競技する等の組み合わせが可能です。

3) 各大会の優勝チームに出場権があります

※都道府県別のエリア限定ではありません。



7. キャッチボールで世界とつながる



1) コロナ禍でのオンライン全国大会から国際交流大会に発展

2020年コロナ禍を考慮しオンラインで全国大会の開催に成功。

オンラインであれば世界とつなぐ事も可能と考え開催10年の節目2021年に国際交流大会を開催。日本、海外から14カ国がリアル、録画で参加。

(韓国/中国/台湾/タイ/バングラディッシュ/ベトナム/ネパール/スリランカ/フィジー/インド/カンボジア/南スーダン/フィリピン)

2) 野球・キャッチボールを通じグローバル人材育成を目指す

世界の子供たちが野球・キャッチボールでつながり、お互いの文化思想を理解する事でグローバルな人材育成につながる事を期待する。

3) 交流会によるコミュニケーション

競技だけでなくオンライン交流会でお互いを知る時間を設けています。



7. 実績 2022年全国大会[小学生の部]



コロナ禍の中、リアル参加大会を開催

- 1) 主催：一般社団法人日本プロ野球選手会
- 2) 日程：2022年12月3日(土)
- 3) 会場：大阪府東大阪市 荒本青少年運動広場
- 4) 協賛：(株)エイブル/(株)トンボ/日本マクドナルド(株)/
第一三共ヘルスケア(株)/(株)エスエスケイ/
(株)泉宣宏社
- 5) 協力：東大阪市/(株)共同通信社
- 6) 参加：35チーム
茨城県/1 栃木県/2 東京都/1 石川県/2 山梨県/1
長野県/2 愛知県/2 三重県/1 滋賀県/3 大阪府/8
兵庫県/3 和歌山県/2 岡山県/2 広島県/2 徳島県/1
香川県/1 大分県/1

7. 実績 2022年全国大会[中学生の部]



全国をオンラインでつなぎ開催

- 1) 主催：一般社団法人日本プロ野球選手会
- 2) 日程：2022年12月3日(土)
- 3) 会場：福島県あづまスタジアム
- 4) 協賛：(株)エイブル/(株)トンボ/日本マクドナルド(株)/
第一三共ヘルスケア(株)/(株)エスエスケイ/
(株)泉宣宏社
- 5) 協力：一般社団法人福島ベースボールプロジェクト/
福島県中学野球競技力向上委員会/(株)共同通信社/
(株)福島中央テレビ/JICA東北/
ジョンソン&ジョンソン須賀川営業所
- 6) 参加：59チーム(リアル/19 オンライン/40)
北海道/1 岩手県/2 宮城県/1 秋田県/2 山形県/2
福島県/15 茨城県/2 群馬県/2 埼玉県/1 千葉県/1
東京都/1 神奈川県/1 新潟県/1 山梨県/2 富山県/1
石川県/2 福井県/2 山梨県/2 長野県/2 岐阜県/1
静岡県/1 愛知県/2 三重県/2 京都府/1 大阪府/1
鳥取県/2 山口県/1 徳島県/1 愛媛県/1 高知県/1
長崎県/1 鹿児島県/1

7. 実績 2022年国際交流大会



国内/海外をオンラインでつなぎ開催

- 1) 主催：キャッチボールクラシック国際交流大会実行委員会/
一般社団法人日本プロ野球選手会/
一般社団法人福島ベースボールプロジェクト/
福島中央テレビ
- 2) 日程：2022年12月3日(土)
- 3) 会場：福島県あづまスタジアム
- 4) 協賛：(株)エイブル/(株)トンボ/日本マクドナルド(株)/
第一三共ヘルスケア(株)/(株)エスエスケイ/
(株)泉宣宏社/ふくしま未来研究所/日本郵便(株)東北支部/
鈴喜商店
- 5) 協力：福島県中学野球競技力向上委員会/(株)共同通信社/
(株)エスエスケイ/JICA東北/
ジョンソン&ジョンソン須賀川営業所
- 6) 参加：18チーム(国内/13 海外/5)
岩手県/1 福島県/7 群馬県/1 石川県/2 長崎県/1 鹿児島県/1
カンボジア/2 タイ/1 ベトナム/2

